



栄光の未来

R5.11.16

第15号

今年度の締めくくいを意識する時がきた

後期がスタートして1か月が経過しました。後期の大きな学校行事として実施した先月25日（水）の合唱発表会では、大勢の保護者・地域の皆様を会場にお迎えする中で、全ての学級が力を合わせて精一杯歌う姿を見せてくれました。活動を通して成長した様子が、合唱発表会後の生徒の皆さんの日常に表れているように感じています。賞を超えて、全ての学級、生徒にとって自分（たち）の成長につながる学校行事であったのではないかと思います。



学級全員の思いを歌に込めて発表しました！

さて、大きな行事が終わり、気がつけば今年度も残すところ4か月あまりとなりました。3年生は実質的には4か月を切っています。残された期間を考えると、今このタイミングが、学年・学級の総仕上げを意識するタイミングだと言えます。本気の取組を通して自分たちの「目指す姿」の達成を図るためには、残された時間は決して多くありません。一日一日を漫然と過ごすのではなく、集団の成長につながる毎日としてほしいと思います。

各学級で設定した学級目標に対して、今の自分たちはどれくらい迫ることができているか。行事等での学びや学級力の話し合いで決めた目標・取組などを、日常生活に生かして生活できているか。このような視点で自分たちの姿を見つめ直し、個や集団の高まりにつなげていきましょう。

新たな生徒会に向けて、世代交代が迫る！

現在、令和6年度の生徒会役員（会長、副会長〔男女〕、書記局長、応援団長）選挙の立候補の受付が行われており、既に各役職に立候補者が出ています。今年度の生徒会を牽引してくれている現四役の存在は大きいものがありますが、来年度の生徒会リーダーを目指して立候補した生徒の皆さんは、先輩の背中を追いかけ、追い越す気構えで立候補届を提出したのだと思っています。

自分が繰り返し生徒会に求めてきたことは、「自治」の推進です。言い換えれば「生徒の手による学校づくり」です。今年度の生徒会は、田代会長を中心として行事・日常の両面で工夫した取組を展開してきました。これらは、まさに「自治」を目指した取組であると言えます。まだまだ続く今年度の生徒会にさらなる頑張りを期待するとともに、来年度の生徒会への期待も今から大きく膨らんでいます。

実は、皆さんに期待している「自治」や「生徒の手による学校づくり」の理念が、皆さんの手元にある生徒手帳に記載されていることに気付いているでしょうか。

「新潟市立東石山中学校 生徒会規約」の前文には、次のように記されています。

我々、東石山中学校生徒は、我々の意志によって、本校の生徒会を組織し、その民主的な運営を通して、お互いに結び合い、助け合い、考えを出し合って、誰もが力いっぱい、のびのび生活できる理想的な小さな社会を目指した学園を築こうと誓うものです。

この前文に記された理念のもと、全校生徒で組織する生徒会が覚悟と決意をもって取り組み、素晴らしい学校を自分たちの手で創ることができるはず。その牽引役となる次期リーダーを選ぶ時期が迫ってきました。立候補の有無にかかわらず、生徒全員が前文の内容を自分事として受け止め、学校づくりの主体者、当事者であるという意識をもって様々な活動に取り組むことを期待しています。